



国際ロータリー第2680地区  
**Rotary**  
加古川ロータリークラブ



## Weekly Reports 2019-2020

2019-20年度 RI会長; マーク・ダニエル・マローニー / 地区ガバナー 浅木 幸雄  
加古川ロータリークラブ会長; 枝川 潤一 / 幹事; 大辻 利紀  
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F  
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和元年8月20日(火) 晴 No. 7



▲会長と PHF(+2)の  
大庫典会員



▲森ガバナー補佐エレクト



▲釜谷会員増強委員長

### 会長の時間

会長 枝川 潤一

#### 超我の奉仕 **Service above self** 」とコリンズの「**Service, not self** 」

ロータリーの第一の標語 **Service above self** の意味は「他人のことを思いやり、他人のために尽くすこと」であり、この標語は社会のニーズに応えるためには欠かすことの出来ない根底を成す実践哲学であります。特に「他人のことをおもいやる心をもって」がポイントと説かれています。

ご周知のように「**Service above self**」の原点は「**Service, not self**」です。実は、これに係る従来のロータリーの歴史認識に大きな誤りがあり、それを指摘訂正されたのが当地区の田中毅 P G でした。

大きく誤っていたのは、1966年にアーノルドが書いた「ゴールデンストランド」です。同書は1911年8月の第2回全米大会で採択されたかのように記しているが、実際にはコリンズは船上で短いスピーチをしただけで、何を話したのかも大会議事録には一切記載はなく、採択された事実もありません。

石井 P G の資料によると **Service, not self** という言葉の持つ意味については(同書に)次に記述があります。

『**Service, not self** そう、何れにせよ、自己の存在を考えることが、まったく悪いわけではない。例えば、人間は自尊心を持つべきだし、自分自身を守らなければならない。もし自分自身が零落すれば、奉仕することなどできるわけではない。従って、**not self** が、何を意味しているかを理解することは、まったく難解である。自分自身を二の次にしておくのは良いとしても、それを完全に否定するのはどうかと思われた。「よし、それなら **Service above self** にしたらどうだろうか？」誰かが意気揚々と適切な提案をした。「それは良いね！」(中略)「それはよい方針であり、すべてを言い尽くしている。」明らかに、彼の発言は正しく、その提案は満場一致をもって採択された。』

ところが2002年になって、田中 P G が R I の倉庫に眠っていたコリンズの投稿文を見つけ出し、邦訳して公表されました。コリンズのタイトルは「ミネアポリス

ではどのようにしたのか」で、その要旨は、①自己の利益を第一にロータリーに参加するのは間違い、②会員同士の取引には限界があるので、会員同士が助け合いつつ、会員と会員以外との取引を広げる必要があるというものでした。田中PGのご尽力によって、コリンズが話した **Service, not self** は、当時のRCの相互扶助運動の枠組の中の話であって、決して「自己犠牲の奉仕」や「無私の奉仕」という意味ではなかったことが明白となった次第です。

ただ、その後のRI会長らが **Service, not self** を倫理運動として熱心に支持し推奨したのは事実のようで、その影響か、**Service above self** が広く使われるようになったのは1920年頃からと云われています。

さて本日は会員増強フォーラムです。現在当クラブは70歳以上の会員が約30名もおられて、近い将来会員数が大きく減少することも懸念され、計画性をもって増強の準備をして行く必要性が高まっています。会員増強委員会の釜谷委員長及び会員の皆様、本日は宜しくお願い致します。

最後に、地区より森隆志会員に2020-21年度ガバナー補佐の委嘱状が届いていますので、森先生にお渡し致します。

## 幹事報告

### 1) ☆他クラブニュース

例会変更のお知らせ

高砂 RC ◇9月20日(金)→休会[定款第8条第1節(C)]

◇9月27日(金)→高砂青松 RC との合同例会のため  
於;ウエディングパレス鹿島殿

高砂青松 RC ◇9月11日(水)→納涼例会のため 7日(土) 午後6時半～  
於;十輪寺

◇9月18日(水)→休会[定款第8条第1節(C)]

◇9月25日(水)→高砂 RC との合同例会のため  
27日(金)12時半～

於;ウエディングパレス鹿島殿

加古川中央 RC ◇10月3日(木)→3クラブ合同例会の為 午後6時～  
於;加古川プラザホテル2階

◇10月24日(木)→休会[定款第8条第1節(C)]

加古川平成 RC ◇9月18日(水)→休会[定款第8条第1節(C)]

2) テーブルに地区補助金プロジェクト見学訪問のご案内を2件置いております。相生RC からと神戸南 RC からです。参加ご希望の方は事務局までお願いします。

3) BOX にハイライトよねやまを入れております。

4) 9月7日～8日(土日)に開催されます加古川楽市でのポリオ根絶キャンペーンのお手伝いを募集しております。お手伝い頂ける方は幹事までお知らせ下さい。

## ニコニコ



省 略 ☺ 本日の会員増強フォーラム、皆様宜しくお願い致します。

省 略 ☺ 森隆志先生、2020-21年度ガバナー補佐、宜しくお願い致します。

- 省 略 ☺ 本日卓話はフォーラム会員増強委員会、釜谷委員長よろしくお  
願ひします。
- 省 略 ☺ ガバナー補佐を拝命いたしました。皆様協力をよろしくお願ひし  
ます。
- 省 略 ☺ バンコクの8月は日本より過しやすいですヨ。
- 省 略 ☺ 納涼例会、多くの皆様の参加ありがとうございました。
- 省 略 ☺ 納涼例会のご参加、ありがとうございました。
- 省 略 ☺ たくさんの写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真有難うございます。
- 省 略 ☺ 写真有難うございます。
- 省 略 ☺ 写真のお礼申し上げます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真をいただき、ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 納涼例会の写真ありがとうございます。また、ご参加ありがとうご  
ざいました。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ 写真ありがとうございます。
- 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上30件 ¥41,000-  
本年度累計¥378,000-

### 出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 77 名 出席 50 名 出席免除 10 名 欠席 17 名 74.62%
- ☆ 欠 席 者 省略
  
- ☆ 前 々 週 会員数 77 名 出席 49 名 出席免除 13 名 欠席 15 名 76.56%
- ☆ メークアップ 加古川中央 RC 8/8 落合、高田、藤堂、山本、吉田実

### 親睦活動委員会

例会場当番

- 8月27日(火) 水川、吉田太
- 9月 3日(火) 小田、吉川



## プログラム委員会

| 本日8月20日(火)             | 8月27日(火)               | 9月3日(火)            | 9月10日(火)              |
|------------------------|------------------------|--------------------|-----------------------|
| 会員増強フォーラム<br>会員増強委員会担当 | 卓話<br>「思い込み」<br>藤本光 担当 | フォーラム<br>畑雑誌委員長 担当 | 尚齒例会<br>親睦活動委員会<br>担当 |

## 2021-22 年度国際ロータリー会長に インドのシェカール・メータ氏が選出される

国際ロータリー会長指名委員会は、カルカッタ-マハナガル・ロータリークラブ（インド、西ベンガル州）所属のシェカール・メータ氏を 2021-22 年度国際ロータリー会長に選出しました。対抗候補者がいない場合、同氏は 10 月 1 日に会長ノミニーとして宣言されます。



メータ氏は、現在の会員傾向には課題があり、会員増強がロータリーの最優先事項となるべきであると述べています。地域的な計画、ローターアクターのロータリークラブへの移行、多様性と女性会員の増加によって、毎年 5 パーセントの会員数純増が達成できると確信しています。

「世界の各地域に合った効果的な解決策を模索するために、大規模なブレインストーミングが必要です」とメータ氏。さらに、地域的な解決策を引き出すためには、各地域の価値観や文化を念頭に入れるべきとし、「1 つのやり方をすべてに適用することはできない」と話します。

また、ロータリーが新しい地域や国に拡大していくことができると考えています。

ロータリーの戦略計画の一部として、クラブが行動計画を用いることを奨励すると共に、ロータリーの中核的価値観を強化する計画です。

メータ氏はさらに、政府や企業とのパートナーシップ、ロータリーの重点分野を専門とする組織とのパートナーシップ拡大、テクノロジーへの投資に焦点を当てることで、ロータリーがより現代化し、適応力を高める必要があると述べています。

メータ氏は、自身が設立した不動産開発会社「Skyline Group」の会長で、会計士でもあります。また、カナダを本拠とする「Operation Eyesight Universal (India)」のディレクターも務めています。

災害救援活動に積極的に参加してきたメータ氏は、シェルターボックス（英国）の理事です。2004 年に発生したインド洋での津波の後、被災者のための約 500 戸の家の建設を支援しました。

南アジアで 1,500 件以上の心臓外科手術を提供したプログラムを立ち上げたメータ氏は、インド全土での識字率向上をはかる「TEACH プログラム」の創設にもかかわり、このプログラムを通じて何千もの学校に支援を提供しました。

1984 年にロータリーに入会したメータ氏は、RI 理事、複数の委員会の委員および委員長、ゾーンコーディネーター、研修リーダー、ロータリー財団専門家グループメンバー、地区ガバナーを歴任したほか、インド・ロータリー財団の会長を務めています。

超私の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞しており、ラシ夫人と共にメジャードナー、遺贈友の会の会員です。

2021-22 年度国際ロータリー会長に選出されたシェカール・メータ氏（インド、西ベンガル州カルカッタ-マハナガル・ロータリークラブ）